

主要施策名:(2)公共交通の維持・充実

事務事業本数:1

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業 コード	事務事業	所管課
④便利で快適な 都市づくり	(2)公共交通の 維持・充実		420-1	地域公共交通対策事業	地域振興課

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 地方路線バス運行補助事業	路線維持のため、バス事業者に対し、補助金を交付	運行系統数(維持確保数)	系統	21	21	25	21
② 滑石・岱明しおかぜタクシー運行補助事業	事前予約制乗合タクシー運行への補助	運行台数	台	3287	3370	2789	3000
③ 大浜・横島いちごタクシー運行補助事業	事前予約制乗合タクシー運行への補助	運行台数	台	2457	2409	2192	2300

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(市民)	66850	66319	65817	65189
投入コスト合計(千円)	124,844	132,069	162,260	170,093
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	2	2	3
コスト評価(対前年比)	***	93.78% (↓)	80.78% (↓)	94.48% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	R03実績
1 乗合タクシー利用者数	各乗合タクシーの利用者数	人	*** 19,127	*** 18,836	19,100 10,966	12,000
2 路線バスの系統見直し	路線バスに対する補助金額	千円	*** ***	*** 90,871	90,871 106,021	108,552

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って乗合タクシー及びバスの利用者が減少した。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(バス及び乗合タクシーへの市の支出は、運行経費から利用料金を差し引いた額を払っている。) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	R2.4月から梅林地域にて乗合タクシーの実証実験を開始し、R2.10月から小田地区も含めて本格運行を開始した。また、バス路線「長洲線」の廃止と「山鹿線(東郷経由・米の岳経由・下津原経由)」の見直しを行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	小田・梅林地域を運行する乗合タクシー「いでんタクシー」を、R4.4月から玉陵中学校区全体に拡大するために地元等との調整を行う。また、R1.7月に天水地域への新たな乗合タクシーの導入を求める要望書が提出され、既存のみかんタクシーの見直しや玉南中学校区への導入も含めて新たな乗合タクシー「いでん」は、コロナ禍の影響もあるが、利用が伸び悩んでいる。バス路線については、引き続き利用が少ない路線の見直しを進める。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input checked="" type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) 小田・梅林いでんタクシー <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	R2年度は地域公共交通もコロナ禍による大きな影響を受けた。感染拡大による移動自粛や外出自粛により、人々の移動が大きく減少したため、路線バス、乗合タクシーともに利用者が大きく減少した。しおかぜタクシー、いちごタクシーは順調に利用者を伸ばしていたが、前年比6割程度の利用となった。小田・梅林地区に導入した乗合タクシー「いでん」は、コロナ禍の影響もあるが、利用が伸び悩んでいる。路線バス・乗合タクシーともに、公費負担を減らしながらも存続のためには、利用の促進が課題。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	--	----------------